

成田発着バスに 翻訳する運賃箱

成田空港交通が実験

乗客の言語に変換する。
英語や中国語のほかド
イツ語、フランス語、韓
国語など12の言語に対応
する。千葉線（成田空港
―海浜幕張駅・稲毛海岸
駅）や、つくば線（成田
空港―つくばセンター・
土浦駅）などで運行する。
5月18日まで実験し、利
用状況やスムーズに運用
できるか検証し、本格導
入を決める。

成田空港交通は19日か
ら、成田空港発着の高速
連絡バスで翻訳機能が付
いた車内乗車券発売機
（運賃箱）の実証実験を
始める。外国人の乗客が
話す12の言語と、質問に
答える乗務員の日本語を
翻訳して音声で応答す
る。訪日客の乗客が増え
るなか、スムーズに対応
できるようにする。

精算機製造を手掛ける
一水製作所（東京・北）が
開発中の運賃箱を使う。
乗客がタッチパネルで言
語を選択して質問すると
日本語に音声翻訳され、
乗務員の日本語の返答を